

令和6年度第4回富士見市アンケートモニター調査

1 調査設計

調査対象：富士見市アンケートモニターに登録された市民等773名

調査時期：令和7年2月14日（金）～2月21日（金）

調査方法：Web 調査

2 回収結果

配布数：763名（メール到達件数）

回収数：277名

回収率：36.3%

3 表記方法について（四捨五入など）

- ・小数点以下第2位を四捨五入して端数処理をしているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。
- ・表の（n）という表記は、その項目の回答者数となります。

4 調査結果

問1. 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどう思いますか。

（担当：人権・市民相談課）

回答	n	割合
同感する	11	3.9%
同感しない	186	67.1%
どちらとも言えない	80	28.8%

問2. 「男女共同参画の社会づくり」への取り組みに対する重要度について、どう思いますか。

（担当：人権・市民相談課）

回答	n	割合
非常に重要である	97	35.0%
重要である	113	40.8%
少し重要である	42	15.2%
あまり重要ではない	21	7.6%
重要ではない	0	0%
全く重要ではない	4	1.4%

問3. 男女がともにあらゆる分野に積極的に参画し、活躍できるためには、社会全体がどのようなことに取り組む必要があると思いますか。(あてはまるものすべてを選んでください)

(担当：人権・市民相談課)

回答	n	割合
男女ともに仕事や家事・育児・介護を担う意識の啓発を行う	201	72.6%
仕事と生活が両立できるよう、保育・介護にかかる施設・サービスを充実させる	213	76.9%
労働時間の短縮、在宅勤務やフレックスタイムの普及など、多様で柔軟な働き方ができるようにする	202	72.9%
育児休業・介護休業制度を取得しやすい職場環境づくりをする	183	66.1%
育児休業・介護休業中の手当でその他の経済的支援の充実をする	165	59.6%
出産・育児で離職した女性の再就職や起業などができるよう、仕事に関する情報の提供や支援をする	159	57.4%
配偶者・パートナーまたは恋人からの暴力の防止と被害者の支援をする	125	45.1%
職場・地域におけるセクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パワー・ハラスメントなどの防止と被害者の支援をする	134	48.4%
国・地方公共団体における審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性が増えるようにする	121	43.7%
民間企業・団体等の管理職に女性が増えるようにする	107	38.6%
男女共同参画に関する情報提供、学習の機会を充実させる	96	34.7%
女性のライフステージ(妊娠・出産等を含む)に応じた健康づくりの支援をする	121	43.7%
特にない	8	2.9%
わからない	2	0.7%
その他(自由記述)	27	9.7%

※その他の理由(自由記述)原文のまま記載

給与を上げる
金銭的な支援も大切だとは思いますが、それ以上に意識改革と啓蒙が最重要だと考えます。
男と女では業務上の気付きや着眼点が違うので適材適所の方が男としては助かります。
選択的夫婦別姓
本当にそうしたいと思っている人がどの程度いるのか、再考するべきで、意欲や効率を考えた上で、適切な場合には分け隔てなく参加できる仕組みがあれば良い。特に考えのない男性の育児参加は結局社会的な自己満足。乳児期を超えた後は、その後の収入の見込みなどを踏まえて、主体となって育児をする側を、きちんと考えてくれるか、考えらえる土壌が必要だと思う(我が家は妻のキャリアを優先し、夫が主に育児を担当した)
女性だからというだけで企業や団体で尊重されてしまうと男性への逆差別になりかねない。性別にかかわらず、その人の能力に応じた公正な評価による人事を行う方が男女共に幸せではないでしょうか。

問3. つづき

産後、働きたい女性もいれば、小学生まで子育てを重視した生活をしたい女性もいます（私もそうです）。女性参画が必ずしも働くことに集中したいわけではないことを認識してほしいです。実際に子育てをしてみると、仕事以上に楽しくやりがいがあるからです。
待機児童の解消し、希望者が早期復職できる環境づくり。
（少し逸れるかもしれないが）男女だけでなく、病人や障害者も働きやすい環境が必要だと思う。どんな人でも、困っている状況を少しでも助け合う社会が望ましい。
マンガやアニメ、絵本の挿絵などでも、性役割分担の固定化にならない表現にならないようにする
男女、と比べること自体が理解に苦しむ。両方同じだと思って欲しい
まずは、女性の側の啓発が必要です。「性別に関係なく私はできる！」と主張すること。次に会社や社会が受け入れることが必要と考えます。
本当の同一賃金。統計上も性別の差がない労働市場
LGBTについて、LGBとTは一緒にせず分けて考えることが絶対に必要だと思います。
管理職になるかどうかは性別ではなく、能力によるため、女性管理職を増やす制度は不要、ただし、家事育児の分担を同じ割合とするよう啓蒙し、男性の意識改革（特に高齢の男性）が必要
子どもの年齢からの学校教育の場からの取り組み
管理職に女性を増やすのではなく、男女の区別なく相応しい人を選ぶべきであり、女性だからというだけで増やすべきではない。
昔ながら女性的存在でも（男性的な性格で無くても！？）社会で活躍や支援をする。
男女ではなく人として考える
「教育」だと思います、小学生からこんな教育をしている国を見習ったら、と思います。 参考図書：「スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む」新評論社刊
男女の前に人間としての価値で選ぶべきと思う。男女の比率だけで選ぶべきでない。
まずは公務員の皆さんもリモートワークなどを活用してほしい
管理職に女性を増やしても、男性による妨害もある。男性の意識改革も必要かと思う
都合の良いハラスメントの解釈をなくす
基本的な収入の増加策
男性側に家事のスキル、育児スキル、制度の活用の仕方などを若いうちから教えて欲しい。育児にしっかり向き合いたい女性に対しても、経済的支援が欲しい。
性教育の充実

問4. 男女共同参画にかかる富士見市の取り組みや、次にあげる言葉について、見たり聞いたりしたことがありますか。

(担当：人権・市民相談課)

回答	知っている	見たことや聞いたことはある	知らない
富士見市男女共同参画推進条例	37	74	166
富士見市男女共同参画プラン	32	84	161
男女共同参画ひろば「いっぽいっぽ」	16	48	213
男女共同参画講演会・セミナー	33	70	174
富士見市パートナーシップ宣誓制度	45	76	156
ジェンダー	161	36	80
性別役割分担意識	73	52	152
ワークライフバランス	137	43	97
LGBT などの性的マイノリティ	159	34	84
デートDV	102	45	130

問5. 防災・災害復興対策で、配慮して取り組む必要があるものは何だと思いますか。

(3つまで選んでください) (担当：人権・市民相談課)

回答	n	割合
授乳室や男女及び多様な性に配慮したトイレ、物干し場、更衣室を設ける	190	68.6%
女性用品について、女性の担当者からの配布や、専用スペースに常備する	154	55.6%
女性や子どもに対する暴力（性暴力を含む）防止のため、暴力を許さない環境づくり	146	52.7%
被災者に対し、保健師や男女両方の生活支援員等の巡回訪問を行う	93	33.6%
防災計画や、防災会議、対策本部へ女性を配置し、対策に女性の視点が入る	134	48.4%
わからない	5	1.8%
その他（自由記述）	13	4.7%

※その他の理由（自由記述）原文のまま記載

障がい者に対するケア
市管理の喫煙所の設置
避難所に居続けるのが正しいのか、考えられる状況があると良いと思う。また、もしかしたら既にあるかもしれないが、被災時の心がけや、助け合い、自身ができる事、参画できる作業等についての心得の様な冊子や説明会、等があると気持ちが落ち着く気がする。職員だけで、あれこれするのはではなく、被災時に市民が積極的に参加できる何か取組があるとかっこいい（仕分けの手伝いとか、巡回とか）
防災の場であってもトイレや更衣室等は身体的な特徴による性別でしっかりと分け、女性の安心や安全を守って欲しいです。

問5. つづき

個人の尊厳
男女 と比べることが嫌だ。なんなら女性を優位に。
円滑したトイレ、渋滞トイレは嫌だ。
人間も、大事ですがペットについても考えてほしい
障害等ある方への対応
市民に対する情報共有、意識調査
災害時はレイプなどの犯罪が起りやすいと聞きます。性欲を減退させる薬やサプリがあっても良さそうです。女性側ばかりが防衛するのはおかしい。

問6. 女性が活躍する場を積極的に設けることによって、社会全体にどのような効果があると思いますか。(あてはまるものすべてを選んでください)

(担当：人権・市民相談課)

回答	n	割合
女性の視点を取り入れることができる	182	65.7%
社会のニーズに幅広く対応することができるようになる	159	57.4%
人材を有効に活用できる	159	57.4%
優秀な人材が確保できる	153	55.2%
社会の活性化につながる	141	50.9%
人口減少が進む中で、労働力の確保につながる	147	53.1%
社会全体の労働意欲が高まる	92	33.2%
男性も暮らしやすい社会になる	81	29.2%
特にない	8	2.9%
その他（自由記述）	20	7.2%

※その他の理由（自由記述）原文のまま記載

少子化の抑制
フレイル予防では、高齢男性の参加が少なく女性ばかりで、アンバランスのままです。
婚姻関係の減少 結婚が不要
気持ち良い事ばかり並んでる選択肢だが、社会全体の効果で言えば、マイナスもあると思う。女性に社会的な活躍を……というのは確かにとても耳に心地よいが、まず基本的に2人以上の子供を産んでもらうという視点、施策、教育等はいらないのだろうか？
数だけ合わせる考えは間違っていると思います。育成の段階で平等に対応して優秀な人は男女関係なく活躍の場を提供する。
少子化に貢献している。
女性に対する優遇？今まで女性は参加しにくい環境だったのか？
女を増やさねばと急激に数だけ増やしすぎても、感情的な女性も多いのでうまくまとまらない気もする

問6. つづき

女性、男性と、わけてしまう事自体問題なのでは？
埼玉など女性・外国人がいるけど少ない地域のコンビニ、ファミレスの時給は、東京中心部の事務職より高いです。一方、外国人が少なく女性の労働意欲が低い地域では店舗の運営ができず土日のみ営業というところもあります。
あまり女性女性と強調すると、男性の働く意欲が削がれる気がするので、男性女性ではなく、みんながとか、性別不問とそのその分類をやめた方がいいような？気がします。
特定の性別を特別扱いしたり、優遇してまで推し進めることでは無いと思う。
富士見市のようなベッドタウン都市では女性が昼間に東京などに働きに出ると昼間の町が抜け殻のようになって活性度が下がる問題があり、男性・女性という視点ではなく、富士見市の中心部（複数）の駅前商店街やビジネス街を作り、賑やかで過ごしやすく、かつ、働く場も市の中に作ってってもらいたい。人口減少の中、魅力があり、文化があり、市民を引き付ける街作りをしないと、10年後は富士見市といえど過疎化が進展し、街が荒廃するリスクがある。
毒にも薬にもなる
母親が仕事をするようになった場合の家庭の秩序というか役割りの変化や、鍵っ子となる子どもの精神状態や善悪の判断に対する教育、きちんとした栄養管理ができなくなるなど、女性の社会参画が進むことの一方で増えるであろう新たな負の連鎖というかデメリットの発生が懸念される。このことの論議を抜きにしていくら机上で女性の社会進出や管理職登用などの言葉を掲げても、このことに起因する新たな社会問題が生じることは必定であり、メリット・デメリットのあらゆる観点を総合的に判断した施策が重要となると思われる。
ただし育児休暇などを促進したり、子供がいる家庭ばかり優遇すると、子供がいない(できない)夫婦が傷つくのでやめた方がいいと思う。
この国はおそらく今後20年は老害の男が仕切り続けることは明白で、今回のようなアンケートもおそらく役所内の老害ジジイどもに都合のいいように解釈されるとは思いますが、次の世代のいつかのためにはいいとは思いますが。活躍する場を設けてもその老害ジジババにかき消されることでしょう。効果は20年はほぼゼロ。この効果がどうなるかはこのアンケートを作っている皆さん次第です。ちゃんと、日本のための日本人のために頑張ってください。川口のようにならないように。
個人的に特に何も思っていない
女性が活躍できる場を設けることによって現在も男尊女卑の気持ちを捨てることのできない方にも平等な意識を持ってもらうことができると思う。そして若者にとってはそれが当たり前の中という認識が持てるようになると思う。
弱者、マイノリティもより暮らしやすくなると思います